

# 福祉タクシー券

・津野町では高齢者・障がい者の通院等の移動手段として、タクシー料金の助成を行う「福祉タクシー事業」を行っています。

・福祉タクシー券をお持ちの方は、今年4月から来年3月までの福祉タクシー券を、4月1日以降にお渡しします。印鑑をお持ちの上、4月1日以降に、本庁窓口・西庁窓口・里楽までおいでください。

◎津野町に住所があり、次のいずれかに該当する方が利用できます。

- ・満年齢80歳以上の方
- ・身体障害者手帳（1・2・3級）をお持ちの方
- ・療育手帳（障害程度A）をお持ちの方
- ・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

◎タクシー券1枚で400円助成します。

1回の乗車で何枚でも利用できます。

◎1年間のタクシー券は24枚（9,600円助成）です。（有効期間は4月1日から翌年の3月31日まで）

◎タクシー券は本人以外利用できません。

◎タクシー券の再交付はできません。

〔お問い合わせ先〕

健康福祉課 担当 石元 ☎62-2313

## ●申請手続きについて

申請は本庁窓口・里楽・西庁窓口の3ヶ所で随時受け付けしています。80歳になり新規申請される方は、誕生日の月に手続きをしてください。（印鑑をご持参ください。）

◎年度途中で新規申請する場合は、その月から3月までの分を交付します。

（例：7月新規申請→7月～3月の9ヶ月分（1月2枚）で18枚の交付になります。）

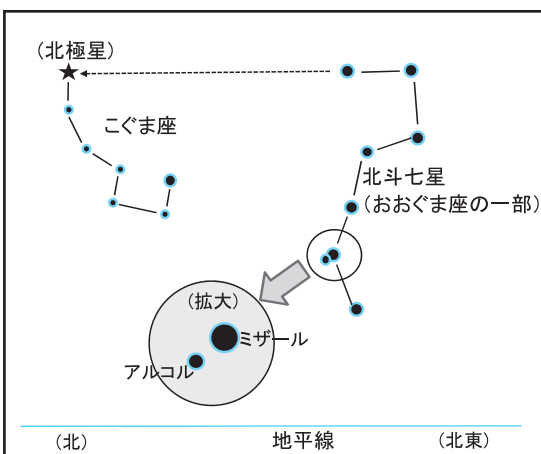
## ●利用できるタクシー業者

- ・津野町内・・・葉山ハイヤー、新田ハイヤー、介護タクシーつものやま
- ・須崎市内・・・にしきハイヤー、須崎ハイヤー、吾桑ハイヤー、横浪交通
- ・梶原町内・・・くるめハイヤー、四万川交通ハイヤー、ゆすはら介護タクシー
- ・土佐市内・・・土佐介護タクシー

## 天狗高原 星空だより

3月に入り、麓では春の訪れを感じようになりましたが、天狗高原ではまだまだ寒い日が続いています。しかし星空は、麓も山も等しく同じ季節の星座を見せてくれます。

夜8時ごろ北東の空を見ると「おおぐま座」が見えています。おおぐま座というと、星に興味のない方にはなじみが少ないと思いますが、「北斗七星」というとお分りでしょう。小学校で習った、北極星を見つけるための星座です。実は熊の形は北斗七星と他の星々を含む大きな形ですが、北斗七星の7つの星以外は暗いため、熊の形を思い描くには想像力が必要です。今回は、このおおぐま座にまつわる2つのお話を紹介します。



まず、北斗七星をひしゃくに見立てたときの柄にあたる部分は熊のしっぽとされています。このしっぽの先端から2番目の星を良く見てください。すぐ近くに小さな星が見えますか？ひしゃくの方の明るい星は2等星の「ミザール」、すぐ近くの4等星は「アルコル」といい、二重星です。この星は、古来、兵士の視力検査に用いられたと言われます。また、熊のしっぽですが、何か変なことに気が付きませんか？本物の熊のしっぽは、あんな長くないはずですね。なぜ、おおぐま座のしっぽが長いかは諸説あつて、ひとつのおもしろい話としては、ギリシャ神話でこの熊（元々は人間だったが神の怒りに触れ熊に変えられた）を神が天に投げつけたとき、しっぽを持ってぐるぐる振り回して投げつけたのでその時に伸びた、というのがあります。

ちなみに、すぐ近くに「こぐま座」もあり、ミニ北斗七星の形をしています。これらの2頭の熊は母と子です。こぐま座もしっぽにあたる部分は長くなっています。そして、しっぽの先端は北極星です。

天狗高原の冬場は閑散期ですが、奥四万十博効果もあり、全国さらには海外からたくさんの方に訪れていただきました。天狗荘では春からもカルストの自然・星空のご案内磨きをかけ、お客さまに満足いただけるようがんばってまいります。（天狗荘）